

木材伐出業における転倒災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	15～ 16	搬出間伐施業地にて搬出エリア外を切り捨て間伐作業中、前日の降雪により林内に積雪していたため、転石をよく確認できず、その転石を踏み左足を滑らせ、足首を捻り転倒した。	19	10 ～ 29
1	13～ 14	確保支援センターの実技コース内で、走行集材機械運転特別教育講習のスキッター作業のワイヤー荷掛け作業中に、荷掛け後に退避しようと後ろ横向きに移動したところ、注意喚起用のカラーコーンを置いてあった支柱設運用穴（内径30cm、深さ80cm）に左足が入り、支点となった右足を被災した。講師は、スキッター機械側からスキッター操作者へ指導、および荷掛け者に退避するよう指導していた。	30	50 ～ 99
2	13～14	山林でスギの立木を伐採して、枝払い、玉切り作業をしている時に、作業場所を斜面下り方向に移動していたところ、右足が枝材に躓き転倒し、その際に手で受け身を取ったが足先が枝材に引っ掛かったままの状態です膝をひねって負傷した。	52	30 ～ 49
3	14～15	山林にて製材をする丸太を運び出す作業をしている際に、足がつまずき丸太にぶつかり右足を骨折した。	52	10 ～ 29
3	10～11	班員2名で侵入竹の伐採作業中、支障木の雑木を伐倒するため足場を確保し、チェーンソーによる作業を開始したところ、足元が滑り約3mの急斜面を滑落し、その際、左手で持っていた（左利きのため）チェーンソーの刃先が右上腕部に当たり切創した。	54	10 ～ 29
3	10～11	停止中の重機の後方をしいたけ原木（90cm×12cm）を持って移動している時に、ゲル状のドロで埋まっている重機のわだちに足をとられ転倒し、足が抜けずに右足	44	1～ 9

		を負傷した。		
3	11~12	広葉樹の伐採現場で枝等の藪整理をし、その藪を乗り越えたところ足が滑り転倒し、右足のひざを打つと同時にひねり、痛みが治まらなくなった。	43	10 ～ 29
4	15～ 16	山林内で間伐作業を行っていた時に、間伐木がかかり木になった。処理をする為に近づいたが、かかり木がはずれて倒れてきた。安全な箇所へ逃げる際に斜面に足をとられ大きく捻った時に骨折した。	23	30 ～ 49
4	10～ 11	平たんな場所で伐採作業中、伐倒して退避する際に転倒し、倒した木に足をすくわれ右足を骨折した。	37	10 ～ 29
5	13～ 14	山林において（谷に近いところ）、除伐作業を行っていた。昼休憩時間になったので刈払機をその場に置き、上の横道へ停めてある車まで戻り食事を取り、休憩をした。少し小雨が降っていたが、定時になったので作業場まで山を下り始めたところ、傾斜約35°の斜面になった所で、踏ん張っていた左足が滑り、約2m滑落し、その際左足を伐採残木に強打した。	32	50 ～ 99
5	10～ 11	森林において、伐採して地面に倒れている木の上を歩行中に足を滑らせ、木と木の間に右足を滑り込ませてしまった。その反動で体が右方向に傾き、右膝を捻じた。	47	1～ 9
6	10～ 11	造材現場で、被災者はグラップル付重機で集材作業をしていたが、重機から降りて作業路を見計中に転倒し、肘をついて負傷した。	65	1～ 9
7	10~11	当社造材現場において、枝払い作業中の事故で左足をくぼ地に入れ、バランスを失い左膝部にチェーンソーのバーが当たり被災した。	54	1～ 9
7	11~12	再生事業における間伐作業中、伐倒木から退避していたところ、足を滑らせてしまった。そこにたまたま何か（ガラスと思われる）があり、左足を切傷した。	31	1～ 9
7	15~16	間伐材を伐採した後グラップル付バックホウを使って林道山側の材を林道に引き出す作業中グラップルで材をつかんだまま後向きに引っ張っている時に路肩に寄り過ぎて左キャタピラが脱輪しかかった。その状況を修正しようとしていたが運転席	63	1～ 9

		に乗ったまま機械ごと横転し林道から転落した。その時に運転席のキャビンと地面の間に左腕と左足を挟まり負傷した。		
7	11~12	間伐作業現場において作業員4名で作業中、被災者は、傾斜約40度の急斜面で伐倒作業後の避難時に足を滑らせ、右足で踏ん張った際、負傷した。	42	10 ~ 29
9	15~16	山林で伐採作業をしていた。山林内で移動する際、右足に重心をかけたところ、膝をひねって転倒した。	34	10 ~ 29
9	16~17	作業現場で、木を伐倒作業中に、傾斜地で、大きな石が転がってきて、よけたが転んでその時に右足首の上にのりあげ骨折した。	30	1~ 9
9	11~12	作業現場に到着後、同僚2名で作業範囲の確認を行うため、10mほど斜面を登った昼食前だったので、休憩するため、一旦作業車に戻ろうと斜面を下っていた際、足を滑らせ尻もちを着いた、その際近くにあった石で右の腰辺りを強打し、肋骨を骨折した。	64	100 ~ 299
11	14~15	現場にて、平地で丸太の玉切り作業中、次の丸太を切る為に移動する時に丸太（長さ1.5m直径15cm位）の上に上がった際に丸太が動きバランスを崩し、滑って転び丸太にぶつかり左足を痛めた。（スパイク付き長靴、軍手、ヘルメット）	52	1~ 9
11	11~12	杉、雑木間伐作業後の急傾斜地（約35度）周囲測量作業中、雑木の切株に躓き転倒し、右の脛と顔面を地面に打ちつけ、左眉の上を切る。右の脛も打撲する。	66	10 ~ 29
11	11~12	間伐事業を実施していた際、山頂付近で作業中の事故である。枝の多い立ち木をチルホールを使用し間伐を実施した際に、身体に倒れた木の枝が接触し転倒した。その際、右手を地面についた時に右手首を骨折した。	65	1~ 9
11	16~17	伐採現場にて伐採作業中に、ワイヤーが右足に掛かり転倒し右足を骨折した。	76	1~ 9

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html